

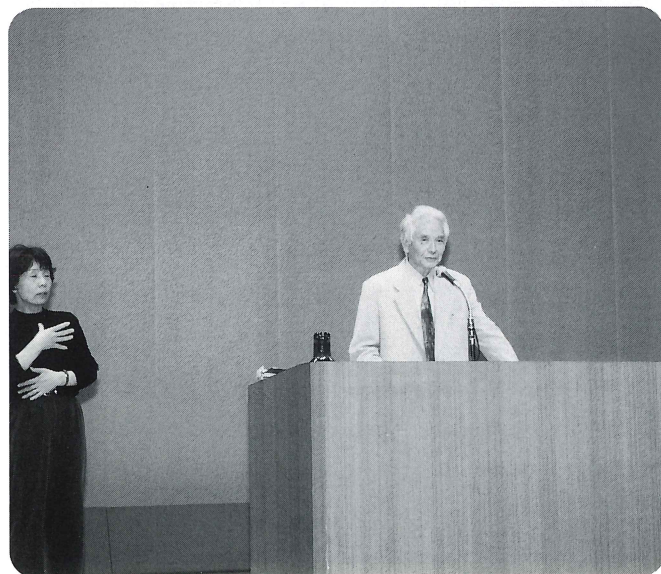
地区委員会代表研修会



差別を受けてきた地区の現在の実態と経過について、現地にて実際に知ることから人権意識を高め、各地区活動にいかしていくことを目的に、地域における人権啓発の推進役としてご活躍中の皆さんを中心に57名の参加者を得て、9月23日(土)解放会館において開催しました。地域のフィールドワークでは、熱心なご説明をいただき、参加者も一つ一つうなずきながら見学されていました。その後、講師の藤原さんから、ご自身の体験談や差別の本質、また楽しく進めていただきながら人権感覚の大切さについて実感できるようなご講演をいただきました。今後も皆さんのご意見を参考に、いろいろな研修の機会や交流会を設けたいと思います。

憲法と市民のつどい

5月20日(土)メイシアター中ホールにおいて、「ありのままの姿を描きたい」～映画「アイ・ラブ・ユー」を通して～と題して、映画監督の大澤豊さんが講演。映画「アイ・ラブ・ユー」製作を通して、障害の有無にかかわらず、人と人が理解し合うことの素晴らしさや製作中のエピソードなど、豊富なお話の中から心に残るお話でした。また、ワイワイコーラスの皆さんの歌声もさわやかに響きました。



催し・研修会 ご案内

リバティ大阪 (大阪人権博物館 ☎6941-7177)
第49回特別展「ヤマトウの中の沖縄(ウチナー)」
期 間 11月19日(日)まで

ピース大阪 (大阪国際平和センター ☎6941-7177)
特別展 「大阪に残る戦争の傷あと」
期 間 12月22日(金)まで

2000人権フェスティバル

(主催) 吹田市・吹田市教育委員会
吹田市人権啓発推進協議会

日 時 12月3日(日)午後1時30分～
場 所 吹田市文化会館(メイシアター)中ホール
内 容 ・オープニング:
市民コーラス「ピッコロ フィオーリ」
・セレモニー:市長・議長挨拶/来賓紹介
・人権のための絵本コンテスト表彰式
・講演 「スポーツと社会」

講師 平尾 誠二さん(ラグビー日本代表監督)

発行 / 吹田市人権啓発推進協議会
☎564-0041 吹田市泉町 1-3-40
☎(06)6384-1231(代) 内線2596～8

(再生紙を使用しています)

吹田市 人権協だより



じんけんネット吹田

No. 9

平成12年(2000年)11月



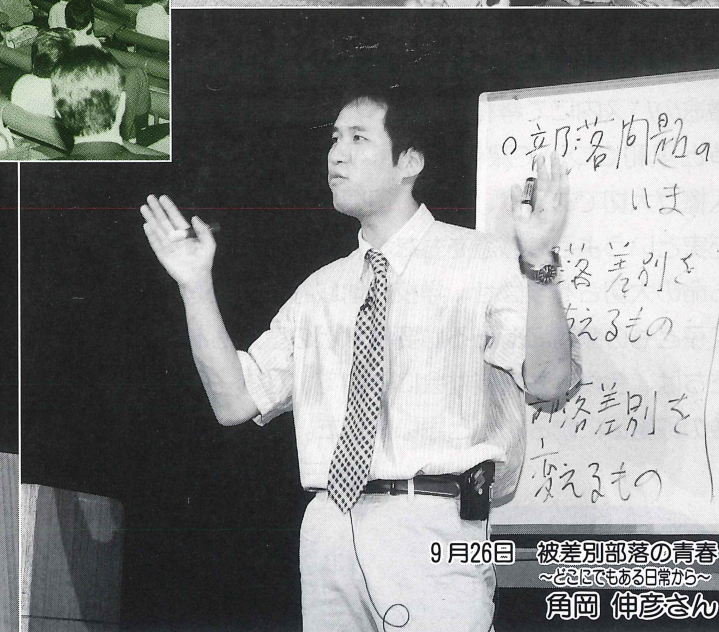
9月5日 マンガの中の障害者たち
～表現と人権～
永井 哲さん



9月13日 大地の紙芝居 ポトゥア
～インド風「絵巻物」紙芝居～
東野 健一さん



9月18日 施設の子どもと暮らして
～現代の子育てを考える～
北條 正治さん



9月26日 被差別部落の青春
～どこにもある日常から～
角岡 伸彦さん

2000市民ひゅーまんセミナー

会 場: メイシアター 小ホール

9月5日から4回にわたって行いました「2000市民ひゅーまんセミナー」は、多くの参加者のもと、さまざまな人権上の課題について、専門の立場から、あるいは体験を通しての講演をいただき、充実したセミナーとなりました。その中から9月13日に行われた「インド風「絵巻物」紙芝居」～大地の紙芝居ポトゥア～を紹介します。

講師の東野さんは、長年勤めた会社を退職後、画家の道へ。インドのベンガル地方に昔から伝わる絵巻物の語り部ポトゥアに現地で弟子入りされました。セミナー当日は絵巻物を巻き上げながら、不思議な世界を背筋にズシンとひびく調子で演じられました。また、インドと日本の価値観などにもふれられ、参加者からは「知らないインドの話や紙芝居で、世界の広さや多様性を感じた」「楽しい時間を過ごす中、固定観念で判断してはよくないことがわかった」など寄せられました。

講演と「おばあちゃんありがとう」のビデオ鑑賞

7月22日、山一地区公民館との共催による人権啓発講座「講演とビデオ鑑賞の夕べ」が開かれました。山一小学校古城ツミ子校長の講演と「おばあちゃんありがとう」のビデオ鑑賞に続いて、参加者による熱心な意見交換が行われました。

ビデオでの一生懸命生きるおばあちゃんの生き方を通して、人間として共に生きる喜びを取り戻した地域の活動の状況、お互いに理解し合い社会づくりをめざすことの重要性を学び、人間として地域として、どのように人権問題にかかわれば良いかを共に考える場となりました。

「いまここに共に生きている」ことの大事さ、「これからをどう共に生きるのか」の重要性をそれぞれが実感しての散会となりました。
(山一地区委員会 鎌田正稔)



「立命館大学国際平和ミュージアム」見学会

3月28日、立命館大学国際平和ミュージアムを中心に現地研修会を実施しました。この見学会を実施して、戦争について、忘れてはならない、大変なことであったと痛切に感じ取ることができました。実物展示品やガイドボランティアの方のていねいな説明により、改めて考えることができました。帰途のバス内にて尋ねたところ、参加者全員が、それぞれ戦争と平和について深く考え、いかに平和や人間の命の尊さ、人権が大切であるか、また、日頃からの地域内の人間関係の充実というような感想をもたれていました。また、幼児期から命の大切さを学ばせ、学校・地域社会・家庭が一体となって子どもの教育にあたる必要性などの意見もありました。私たちは、今後とも地域社会において、なお一層の人権啓発推進の取組みに励みたいと思いました。

(吹三地区委員会 杉原幸雄)



出 会 へ 感 発 見 動

人権研修会「企業と人権」

私たち企業部会では、間近に迫ってきた「人権の世紀」21世紀に向けて、企業人として不可欠な人権感覚等の研鑽を目的に、4月26日に㈱ダイエー人事企画室の安藤正彦さんにお越し、「企業と人権」と題して、主に各企業の若い方を対象に、ご講演いただきました。部落問題やセクハラ問題等について、わかりやすくポイントをおさえたお話で、人権への感性を高めあい、人権感覚への理解を深め合いました。

この夏は、非常に残念なことながら食品トラブルやクレーム隠し等、企業の人権感覚の欠如が露呈され、私たち企業のさらなる真摯な研鑽が求められています。これからも企業の社会的責任を自覚し、研鑽を深めていこうと思います。

(協力企業部会 柳瀬 将)

皆で語ろう人権について

6月9日、北千里公民館で関西大学の森井暉先生をお迎えし、推進委員を中心とした学習会を開催した。

人権啓発推進の役割を担う者にとって、“生活の場から人権を考える”という趣旨の地域での活動が人々の関心を引き出すのではという不安が常にあるのだが、当日は身近な差別問題や社会をゆるがせている少年事件など、幅広い話題を専門家の意見を交えた有意義な話し合いの場となった。少年法の問題では子育て中の母親の考えや一般論として考えている人など様々な意見が出され、立場の違いで意見の違いがあることなどがわかりとてもよかった。

“車座の人権が重要”と講師が言われたように、集まった人たちが自分の意見を言える場、そんな学習会が大切であることを確認できた。
(北千里地区委員会 及川房子)



「手話シャンソンコンサート」を通して

7月16日、本年度第1回地区研修会を音楽鑑賞による障害児(者)に対する理解と認識を深めるためにタンゴと手話シャンソンのコンサートを実施しました。講師として伊藤裕子さん(歌手)、綾部美和子さん(ピアノ)、荒玉哲郎さん(ベース)をお迎えし、伊藤さんのタンゴと手話をつけたシャンソンによって、意思の伝達を学びました。参加者は地区各団体代表者など30数名でしたが、聴覚にハンディキャップを持っている方に対して表情と手の動きによって心が充分伝わることを実感しました。

最後に参加者全員で伊藤さんの指導で「四季の歌」の手話合唱を数回繰り返し、和やかに手話コンサートを終了しました。そして、ヒューマニズムの心で全ての人権を尊重する地域活動の輪を広げることの大切さを再認識した次第です。

(高野台地区委員会 名出汨路)



講師 人権協・協力企業部会
副部会長 安藤 正彦氏